

Topics④

「1人ひとりの表現を大切にした支援」

～絵画を通して社会と繋がる～

びわこ学園障害者支援センター・さんさん 生活支援員 角野 里奈



さんさんでは、8年前から「え」活動として絵画活動に取り組んでいます。

現在は6名の利用者さんが週に二回。ゆったりとした時間が流れる中で1人ひとりの個性に合わせ、好きなことや得意なことを活かし、絵画に表現されています。

今回、野洲図書館での展覧会は2回目の開催となります。布や不織布に絵の具やマッキー、ペン等で思いのまま自由に表現された17点の作品を展示しました。

来場者からも「色使いが個性的でおもしろい」、「情熱を持って描かれていて絵を描きたい気持ちになった」、「年齢や障害など関係なく絵を描く事、物を作る事は自由だという事を考えさせてもらいました」などのお言葉を頂き、私たちの今後の活力となっています。そして何より、たくさんの方々にご来場頂き、

利用者さん、職員共々大変嬉しく思っています。

言葉でコミュニケーションをとる事が難しくても、アートを通して生まれるコミュニケーションって素敵だな…と実感しています。

「え」活動の中で、「本人の好きなこと・得意なこと」に視点を当てた支援を大切に、本人の可能性や秘めている力をいかに発揮できるかを考え、これからも「自分らしさ」を「え」活動で表現して欲しいと願っています。



みんなの自分らしさが
沢山の人の
届きますように…

